

ミヤコタナゴ系統保存事業 (令和3年度)

概要

現在当場では1972年以来継代飼育している系統(継代飼育群),危険分散のため1992年11月25日に大田原市羽田から移動した系統(羽田群),1994年4月21日A市(地元の希望により,地名は公表しない)から移動した系統(A市群)および1994年9月22日に矢板市山田で採集された雌1尾と羽田群とを交配した系統(矢板群)の4系統について飼育と繁殖を行っている。

事業実績

4月から12月にかけてミヤコタナゴの飼育水槽に産卵母貝としてカワシンジュガイを投入し,産卵させた。2022年1月末現在の飼育尾数は表1のとおりである。

表1 ミヤコタナゴ飼育尾数(2022年1月末現在)

系統	年令群			計(尾)
	2年魚以上(尾)	1年魚(尾)	0年魚(尾)	
継代飼育群	2,137	614	414	3,165
羽田群	980	312	497	1,789
A市群	1,479	527	620	2,626
矢板群	1,275	2	1,142	2,419

(指導環境室)